

平成30年度

事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会

## 平成30年度 法人全体の事業方針

社会福祉法人制度は1951（昭和26）年に、老人福祉法は1963（昭和38）年に施行された。2000（平成12）年に施行された社会福祉法は2016（平成28）年に改正され、2017（平成29）年度から全面施行となり、社会福祉、社会福祉法人改革が本格的に始まった。全面施行となった「改正社会福祉法」第24条第2項には地域公益活動の責務化が明記されている。香川県において、平成27年度より4団体が香川県社会福祉協議会をプラットフォームにして、「香川おもいやりネットワーク事業」が展開されている。また、平成28年度からは「香川災害福祉支援ネットワーク推進会議」を立ち上げ福祉関連20団体が連携して香川県福祉災害支援ネットワークを構築する事業が進んでいる。改めて言うまでも無くこの2つはオール香川で実践する地域公益活動である。組織的な地域公益活動同様に、法人独自の地域公益活動も求められている。

また「地域共生社会の実現」が日本の社会福祉の目指すべき方向と明確に示された。我が国では、かつて地域や家族同士の助け合いなど、地域・家庭・職場といった場面において、支え合いの機能が存在した。社会保障制度は、これまで地域や家庭が果たしてきた役割の一部を代替する必要性が高まったことに対応して、高齢者、障害者、児童など対象ごとや必要な機能ごとに、公的支援制度の整備が図られ、人々の暮らしを支えてきた。

しかし、我が国では、高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤が弱まってきている。暮らしにおける人と人とのつながりが弱まる中、これを再構築することで、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが存在を認め合い、支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会としていくことが求められている。

また、人口減少社会の進展で担い手の減少を招き、それを背景に、耕作放棄地や、空き家、商店街の空き店舗など、様々な課題が顕在化している。地域社会存続の危機感が生まれる中、人口減少を乗り越えていく上で、社会保障や産業などの領域を超えてつながり、地域社会全体を支えていくことが、以前に増して重要と言われている。

さらに、対象者別・機能別の公的支援は昨今、様々な分野の課題が絡み合って複雑化したり、個人や世帯単位で複数分野の課題を抱え、複合的な支援を必要とするといった状況がみられ、対応困難ケースが浮き彫りとなっている。

「地域共生社会」とは、このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」と「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指すものである。

我が国の人口将来推計によると、2025年には75歳以上人口が2000万人を突破し、後期高齢者人口2000万人社会が到来する。都市部を中心に75歳以上人口が急増すると共に独居・高齢者世帯が激増するなど地域社会や家族形態が大きく変化する中で対象となる高齢者、障がい者、児童の尊厳保持をしながら、先に述べた「地域共生社会」を実現していくことが大きな課題となってくる。

法人設立当初は少ない職員数で事業を行ってきたが、2018年1月1日現在136名の職員からなる組織へと成長している。ここまで成長してくる中で、時代の流れ、地域のニーズに応じたサービス提供を行ってきた。現在の日本の福祉における環境は劇的に変化をしており、地域の少子高齢化問題や福祉人材不足についても大きな課題となっている。

40周年を迎える節目の年に改めて、サンシャインの組織について見直しを行い、大きく変化する福祉ニーズに応じたサービス提供が行えるようにしていかなければならない。

このことについて進めていくために、一つのツールである「日本経営品質賞」を活用し経営品質の向上に繋げて行く。そのためにまず日本経営品質賞についての理解度を深めるために経営品質向上委員会を立ち上げ、定期的に勉強会、組織プロフィールの見直し、意見交換等を行いながら経営品質の向上を進めていく。

また、サンシャイン会を知り、信頼を得るためや職員や採用希望者が法人の理解を深めるための広報、職員のスキルアップやサービスの質を向上させるための研修企画、地域のニーズに応えるための地域活動推進、これらに関する委員会を立ち上げ、サンシャイン会全体のレベルアップを図っていく。

以上の認識に基づき、法人創設40年となる平成30年度の法人事業方針を以下のとおり設定する。各部門、全職員は積極的且つ主体的に高い志気を持って、それぞれの持ち場でベストを尽くしてもらいたい。

社会福祉法人サンシャイン会  
理事長 川西 基雄

## 経営方針・概況

基本方針（法人理念等）

○法人訓

### 心 技 体 智 絆

○法人の基本理念

対象者がその環境、心身の状態に応じて、あらゆる分野の活動に参加し、「その人らしさ」と「人間としての尊厳」を保持しつつ、心身ともに健康で生き甲斐のある自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援いたします。

○法人理念に基づく基本方針

- (1) 利用者の生活・人生の質の向上並びに「その人らしい生活（自助）」の支援
- (2) 職員が生き活きと働ける環境の実現
- (3) 家族が安心できるサービスの提供と家族の支え合い（自助）の支援
- (4) 地域住民相互の支え合い（互助）の支援
- (5) 24時間365日体制の資源と人の安全管理システム（セコム）の維持
- (6) 社会福祉法人としての地域貢献、4つ（利用者、職員、設備、機能）の地域化の推進
- (7) 一職員一地域貢献の実践
- (8) 中・長期計画の策定
- (9) その他 社会福祉法人としての生活困窮者対策等、社会貢献活動への取り組み

○施設・事業一覧

- 1 軽費老人ホーム シーサイドサンシャイン
- 2 特別養護老人ホーム リベラルサンシャイン（本館・別館）
- 3 デイサービスセンター（サンシャイン、北のおひさま、サンライズ西村）
- 4 グループホーム 北のおひさま
- 5 居宅介護支援
- 6 訪問介護
- 7 小規模多機能型居宅介護事業 サンリゾート
- 8 給食課
- 9 事務課
- 10 地域貢献、地域公益活動

## サンシャイン会 平成30年度年度組織

### 会 議

#### 経営会議

サンシャインの経営に関する会議を行う。各部署の課題、現状報告を行い、今後の取り組むべき方向性について検討する。法人、事業所の収支に関する情報を共有する。事業計画に沿った取り組みが行えているか見直しを行う。

#### 課長主任会議

各委員会で話し合われた内容を報告し、必要に応じて検討する。各部署の情報共有を行う。課題に対する具体的な解決策を検討する。

### 委 員 会

#### 通年（既設）

##### 福利厚生委員会

福利厚生について検討する。既設の委員会の活動内容の見直しを行う。職員の満足度の向上、人材確保に繋がる満足度の向上に繋がる内容を検討する。

5月か6月に新入職員歓迎会を企画。1月に新年会を企画。

#### 通年（新設）

##### 経営品質向上委員会

日本経営品質賞のツールを活用して経営品質向上について検討する。経営品質についての内容を定期的に話し合いながら勉強会を進める。組織プロフィールを見直し、組織力の向上を図る。

各部署の現状や課題を分析して、改善策を考える。

##### 広報委員会

ホームページ更新、施設外広報誌、施設内広報誌、めだか通信の内容を検討して、地域・利用者・家族への情報提供、信頼に繋げる方法を実施する。厚生労働省をはじめとする外部からの情報収集を行い、法人にとって必要な内容を分析して、活用する。

##### 研修委員会

施設内研修、施設外研修、法人の研修システム等を検討し、職員のスキルアップや組織力強化のための方法を検討し、研修を実施する。

##### 地域活動推進委員会（めだかの学校と連携）

地域に向けた取り組みについて考え、地域ニーズに合った取り組み（地域貢献活動）を実施する。地域公益活動について検討を進めて実施する。

期間限定

**夏祭り実行委員会**（4月～9月）

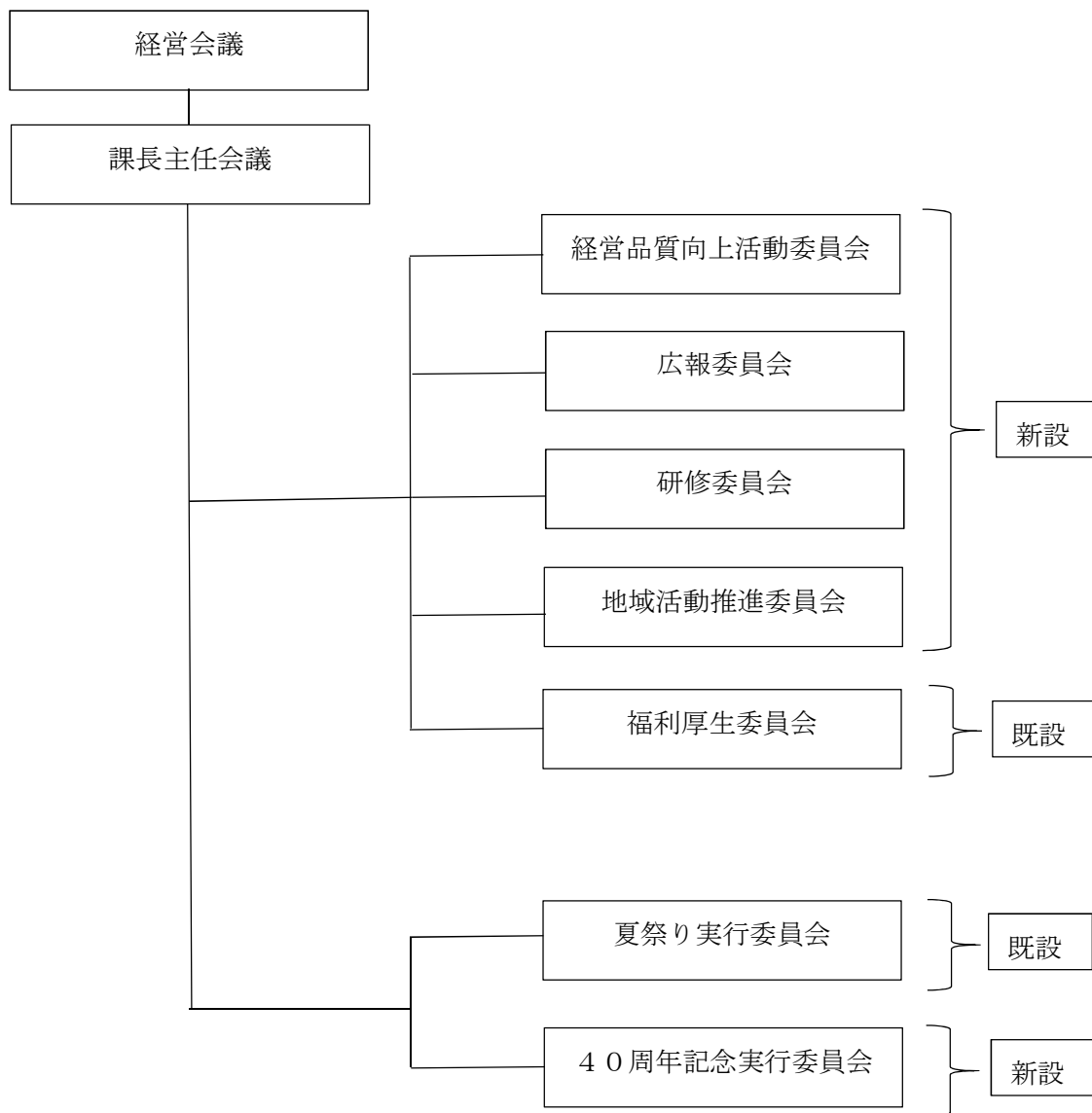
創立記念夏祭りの準備、実行、反省、見直しを行う。

**40周年記念実行委員会**（4月～10月）

40周年記念事業、記念誌について企画、作成、見直しを行う。

法人設立日：昭和53年9月14日

[サンシャイン会 平成30年度会議・委員会組織図]



# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
軽費老人ホームシーサイドサンシャイン

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

日本において高齢化は深刻な問題であり、施設での受け入れ体制が追いついていない状況。本来、軽費老人ホームは自立施設であるが、現在は介護付き施設とも思える状況である。その為、軽費での自立支援に向けた取り組みが出来にくくなっているのが現状である。

入所者50名に対して介護認定者が39名、全体の78%である。平均年齢が87歳、老人車・歩行器使用が半数以上となり高齢化が進んでいる状況。又、認知症状を有する利用者も増えており利用者の重度化が課題である。現在待機者は40名近くおり、家族は島外で一人暮らしの方や日常生活に不安を抱えているケースが多い。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

高齢化による利用者の重度化に対して一人一人のレベルに応じた環境の提案を行い、自立可能な利用者一人一人に対するアセスメントを実施しニーズを引き出し自立支援に繋がるサービスの提案を行う。自分の役割や生きがいを見つけられるように、クラブ活動等の充実や地域との繋がりを強め定期的な交流を行う。積極的に研修や勉強会に参加し職員のスキルを上げ、今後のサービスの質や個別支援に繋げていく。地域との繋がりを強めていくと同時に生活困窮者に対して受け入れやすい環境を提供していく。また、地域の一員として支え合う為に地域住民と合同での災害訓練等を実施する。

利用者のレベルが自立の方から介護保険の利用なしでは生活が成り立たない方までと、状態が多様化し、画一的なサービスでは対応できなくなっているため、その人らしい生活が営めるよう一人一人に合わせた自立支援を目指していく。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

(8) 業務を見直し業務の効率化を図る

## 4. 達成目標（新年の目標）（手法）

(1) 利用者ニーズを引き出す方法の確立

→利用者一人一人に対するアセスメントの実施

(2) 利用者の自己実現に向けた取り組みの実施

→利用者一人一人の自分史をつくる

(3) 利用者の機能低下を防ぎ、機能の維持・向上を図る

→各運動クラブや行事内容等の工夫を行い、意欲に繋げる



- (4) 利用者事故の分析を行い、再発防止の取り組みを実施する
  - 再発防止対策について必ず職員全員で話し合いを行い、早期に実践する
- (5) 優先入所検討委員会を定期的を実施し、生活困難者の入所支援に繋げる
  - 軽費老人ホームでの生活が適しているかどうかの見極めをしっかりと行い、自立支援に繋がるサービスの提案を行う。2部屋ある体験居室の利用。待機者の定期利用と緊急時の対応としての利用
- (6) 職員の資質向上に向けた研修の実施
  - 外部研修に参加し、会議等で全職員への報告と施設内研修に取り入れる工夫を行い、今後のサービスの質に繋げる
- (7) 報・連・相をスムーズに行える組織の確立
  - 業務の役割分担を明確にし、マニュアル化していく。
- (8) 業務を見直し業務の効率化を図る
  - 上・下半期で業務の見直し、課題を見つけ分析を行う。
- (9) 地域住民との交流の機会を増やす
  - 地域行事への参加、施設行事への参加声かけ
- (10) 地域住民と合同で行事を企画、運営、実施をする
  - 地域行事企画段階からの参加と軽費で地域の方との食事会を開催する
- (11) 地域に開かれた施設となる取り組みの実施
  - 地域の方に開放できる居場所・空間作り クラブ活動等のアプローチ
- (12) 災害対応マニュアルの見直し
  - 火災以外の風水害・地震時の対応マニュアルの作成
- (13) さまざまな災害に対応出来る訓練の実施
  - 火災・風水害・地震等に対応した災害訓練を行う
- (14) 地域住民と合同で行う災害訓練の実施
  - 地域住民と相談し、合同火災訓練を行う

## 5. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 17名（うち管理宿直 3名）
- (2) 勤務パターン
 

B	8:30~17:30	C	9:00~18:00	F	8:00~12:30
K	8:00~17:00	L	9:00~17:00	◆	9:30~翌13:00
◇	18:00~翌9:00				

## 6. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

- (1) 定員50名
- (2) 利用日、利用時間 24時間365日
- (3) 体験居室 2部屋

## 7. 利用料金一覧

別紙、軽費老人ホームシーサイドサンシャイン利用料金一覧表のとおり

## 8. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

## 9. その他（上記に記載されていない内容）

- ・各階通路冷暖房設置、各階温水器設置
- ・2階洗濯場に業務用洗濯機・乾燥機の設置

## 軽費老人ホーム シーサイドサンシャイン 利用料一覧表

平成30年 4月 1日 現在

対象収入による階層区分		本人からの事務費徴収額 (月額) A	本人からの生活費 徴収額(月額) B	本人からの利用料 徴収額(月額) A + B
1	150 万円以下	10,000 円	51,640 円	61,640 円
2	150 万1円 ~ 160 万円まで	13,000		64,640
3	160 万1円 ~ 170 万円まで	16,000		67,640
4	170 万1円 ~ 180 万円まで	19,000		70,640
5	180 万1円 ~ 190 万円まで	22,000		73,640
6	190 万1円 ~ 200 万円まで	25,000		76,640
7	200 万1円 ~ 210 万円まで	30,000		81,640
8	210 万1円 ~ 220 万円まで	35,000		86,640
9	220 万1円 ~ 230 万円まで	40,000		91,640
10	230 万1円 ~ 240 万円まで	45,000		96,640
11	240 万1円 ~ 250 万円まで	50,000		101,640
12	250 万1円 ~ 260 万円まで	57,000		108,640
13	260 万1円 ~ 270 万円まで	64,000		115,640
14	270 万1円 ~ 280 万円まで	71,000		122,640
15	280 万1円 ~ 290 万円まで	78,000		129,640
16	290 万1円 ~ 300 万円まで	85,000		136,640
17	300 万1円 ~ 310 万円まで	93,000		144,640
18	310 万1円 ~ 320 万円まで	101,000		152,640
19	320 万1円 ~ 330 万円まで	109,000		160,640
20	330 万1円 ~ 340 万円まで	109,800		161,440
21	340 万1円以上	109,800		161,440

平成3年6月30日以前に入所した非課税者については、A階層として、1階層と同額の利用料を徴収する。

電気代 (10KW/h以上は 1KW/hにつき 20円)  
暖房費 (11月から3月まで 1930円/月額)

## 年間行事等実施計画

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 健康クラブ クラフトクラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ 園芸クラブ 音読 誕生会 月例祭 春の遠足 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 軽費老人ホームの役割について研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会		せいけんじこども園来所
5月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 園芸クラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 相談援助について研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会 検尿		せいけんじこども園来所 春の地域交流昼食会
6月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 園芸クラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 面接技術について研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会 利用者健康診断		せいけんじこども園来所
7月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ 園芸クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 介護認定手続きについて研修会		避難訓練(火災) 総合合同訓練(地震)		衛生委員会 検尿		せいけんじこども園来所
8月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 園芸クラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 接遇研修		避難訓練(火災)		衛生委員会		せいけんじこども園来所 年次祭 創立記念夏祭り
9月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 園芸クラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 敬老会 月例祭 買い物会 誕生会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 緊急時の対応について研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会 検尿		せいけんじこども園来所 小豆島町敬老会

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
10月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 園芸クラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 対人援助技術について勉強会		避難訓練(火災)		衛生委員会		せいけんじこども園来所
11月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 園芸クラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 虐待防止について研修会		総合防災訓練(火災) 避難訓練(風水害)		衛生委員会 利用者健康診断 検尿		せいけんじこども園来所 秋の遠足 秋の地域交流昼食会
12月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 健康クラブ 筋トレクラブ		カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 園芸クラブ 音読 クリスマス誕生忘年会 月例祭 餅つき 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 介護の気づきについて 研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会		せいけんじこども園来所 一人暮らし高齢者励ます会
1月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 園芸クラブ 健康クラブ 筋トレクラブ		カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 元旦祭・初詣・茶話会 とんど 月例祭 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 マニュアルの見直しについて 研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会 検尿		せいけんじこども園来所
2月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 健康クラブ 筋トレクラブ		カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 園芸クラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 機能訓練について研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会		せいけんじこども園来所
3月		書道・硬筆クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 園芸クラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 個別ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 認知症の理解について 研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会 検尿		せいけんじこども園来所

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
特別養護老人ホームリベラルサンシャイン本館

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

平成29年10月1日現在小豆島は高齢化率40.85%、要介護認定を受けている方が小豆島全体で1,255名うち要介護3以上は432名となっている。

現在の待機者は約110名になっているが、2割程度の方は有料老人ホーム、小規模多機能型施設等を利用している現状にある。要支援、要介護1.2の認定を受けている方が、独居であり在宅生活を送ることが出来ず、特別養護老人ホームに入所相談に来る方が非常に増えている。平成27年4月以降特別養護老人ホームの入所要件が要介護3以上になり、新規で入所される方は重度の介護を必要とする方、虚弱の方が多く、介護、看護職員に高い専門性が求められる。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）※入所、ショート、ショート（障がい）の内容を記載

要介護認定の結果、要介護3以上と認定された高齢者を受け入れ、居宅への復帰を念頭において、日常生活が可能となるよう、食事・入浴・排泄・機能訓練などの必要なサービスを提供することを目的とする。利用者一人ひとりが、その人らしく自立した生活ができるよう、高齢者の生きてきた道のり・個人史や人間としての尊厳を重視する。

ショートステイは特別養護老人ホームに併設した専用居室に短期間入所し、入浴、排泄、食事等の日常生活の介護や機能訓練を提供する。

ショートステイ（障がい）は個々の障がいの程度に合わせて日常生活上必要な介護を提供する。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

(1) 定期的にあセスメントを実施し適切な介護の提供と個別ケアの実践

## 4. 達成目標（新年の目標）

(1) 定期的にあセスメントを実施し適切な介護の提供と個別ケアの実践

→6ヵ月毎、もしくは状態の変化があった際には再アセスメントを行い本人に見合った介護が提供できているかケアプランの内容を確認する。

(2) 入所待機者の整理と情報の共有

→定期的に待機者の状況確認（待機場所、身体機能）を行い、本館・別館で情報を共有し、スムーズな入退所の手続きを行う。

(3) 機能訓練の充実を図り、身体機能を維持する

→歩行練習・体操等の機能訓練を実施し、筋力の維持を図る。

残存機能を活用した介護を提供する。

- (4) 施設行事や余暇活動の充実を図り利用者満足度を高める  
→利用者の意向に沿った行事や活動を毎月実施する。  
施設生活に楽しみを持てるよう支援する。
- (5) 外部研修への参加、報告会の開催  
→外部研修に参加し、ユニット会議で全職員に報告を行い、資質の向上を図る。
- (6) ヒヤリハット・事故報告書を分析し再発防止への取り組み  
→提出されたヒヤリハット・事故報告書を毎月分析し、同様の事故を繰り返さないように周知徹底する。
- (7) 各委員会の活発な活動と実践  
→各委員会の役割を再度確認し、サービスの質の向上に努める。  
毎月会議を行いユニット会議で取り組み内容を全職員に周知する。
- (8) 火災や風水害時の対応マニュアルの見直しと訓練の実施  
→マニュアルの見直しを行うと同時に風水害時の避難訓練を実施する。
- (9) 地域の行事に参加し地域住民との交流の機会を増やす  
→地域で開催されている行事に参加し、地域住民との関わりを持つ。
- (10) ショート稼働率年間95%  
→介護支援専門員と連携を密に取り、稼働率95%を維持する。  
入所者に入院が出た場合には空床を積極的に利用する。
- (11) 職員間での意見交換の機会を持ち、サービスの質の向上、職員満足度を高める  
→毎月ユニット会議を開催し、自由な雰囲気意見交換できる機会を確保する。  
職員一人一人が仕事にやりがいや達成感を感じることが出来るような職場を作る。

5. 職員体制・勤務状況等

(1) 人員 ※長期・短期を含む職員配置

( ) 内は非常勤職員

生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員 機能訓練指導員	クリーンスタッフ	合計
1名	2名(兼務)	23名(3) 兼務(2)	4名	3名(3) 兼務(1)	30名

(2) 勤務パターン

別紙のとおり

6. 定員(利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載)

- (1) 定員50名 ショート10名
- (2) 利用日、利用時間 24時間365日

7. 利用料金一覧

報酬改定により決定後の作成となるため添付なし

8. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

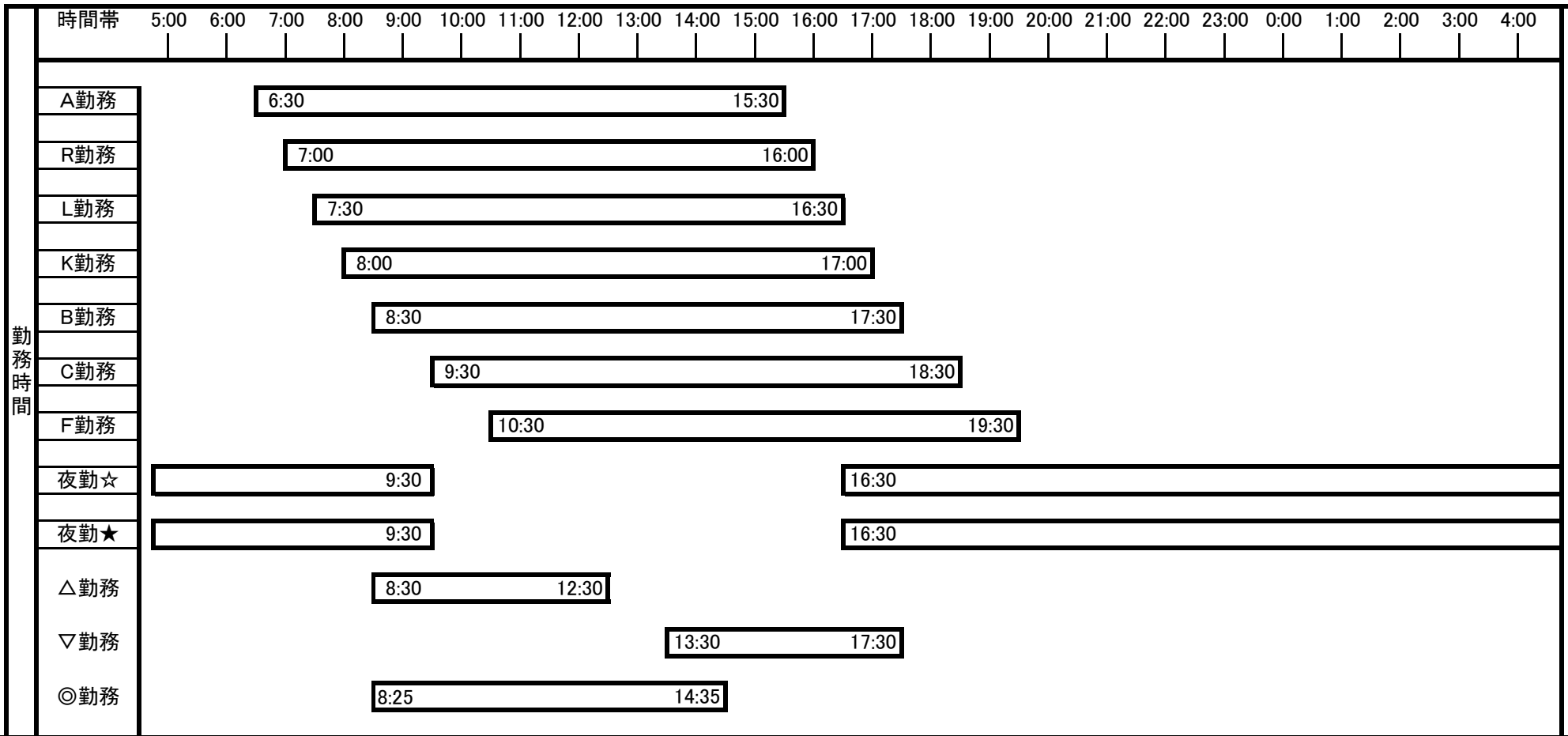
9. その他（上記に記載されていない内容）

- ・ 個浴にバスリフトの設置
- ・ ききょうユニット共有部のエアコン設置
- ・ 移乗用ストレッチャー



# リベラルサンシャイン 勤務パターン

介護サービス	巡	排・起床介助	食事	排泄・口腔・片付	食事	口腔・排泄・入浴・片付	食事	就寝介助	巡回	排泄	巡回	巡回	巡
生活サービス	相談援助・アクティビティ・ティータイム												



# 特別養護老人ホームリベラルサンシャイン

# 料金一覧表

平成29年 4月 1日

〈従来型〉

## ●多床室

要介護度	介護福祉サービス費 一部負担分(月額)	負担限度額	食費(月額)	居住費(月額)	合計金額(月額)
介護度1	607 (547+18+6+22+14)	第1段階	300	0	27.210 円
		第2段階	390	370	41.010 円
		第3段階	650	370	48.810 円
		第4段階	1,380	840	84.810 円
介護度2	674 (614+18+6+22+14)	第1段階	300	0	29.220 円
		第2段階	390	370	43.020 円
		第3段階	650	370	50.820 円
		第4段階	1,380	840	86.820 円
介護度3	742 (682+18+6+22+14)	第1段階	300	0	31.260 円
		第2段階	390	370	45.060 円
		第3段階	650	370	52.860 円
		第4段階	1,380	840	88.860 円
介護度4	809 (749+18+6+22+14)	第1段階	300	0	33.270 円
		第2段階	390	370	47.070 円
		第3段階	650	370	54.870 円
		第4段階	1,380	840	90.870 円
介護度5	874 (814+18+6+22+14)	第1段階	300	0	35.220 円
		第2段階	390	370	49.020 円
		第3段階	650	370	56.820 円
		第4段階	1,380	840	92.820 円

## ●個室

要介護度	介護福祉サービス費 一部負担分(月額)	負担限度額	食費(月額)	居住費(月額)	合計金額(月額)
介護度1	607 (547+18+6+22+14)	第1段階	300	320	36.810 円
		第2段階	390	420	42.510 円
		第3段階	650	820	62.310 円
		第4段階	1,380	1,150	94.110 円
介護度2	674 (614+18+6+22+14)	第1段階	300	320	38.820 円
		第2段階	390	420	44.520 円
		第3段階	650	820	64.320 円
		第4段階	1,380	1,150	96.120 円
介護度3	742 (682+18+6+22+14)	第1段階	300	320	40.860 円
		第2段階	390	420	46.560 円
		第3段階	650	820	66.360 円
		第4段階	1,380	1,150	98.160 円
介護度4	809 (749+18+6+22+14)	第1段階	300	320	42.870 円
		第2段階	390	420	48.570 円
		第3段階	650	820	68.370 円
		第4段階	1,380	1,150	100.170 円
介護度5	874 (814+18+6+22+14)	第1段階	300	320	44.820 円
		第2段階	390	420	50.520 円
		第3段階	650	820	70.320 円
		第4段階	1,380	1,150	102.120 円

上記の負担額に介護職員処遇改善加算※が加わります

### 内訳(月額)

介護福祉施設サービス費、サービス提供体制強化加算(18円)、看護体制加算 I (6円)

夜勤職員配置加算 I (22円)、栄養ケアマネジメント加算(14円)

※介護職員処遇改善加算 I (月の実総単位数×8.3%の1割負担(月により変動))

### その他加算(月額) (該当する場合のみ)

・外泊時費用 … 246円

・初期加算 … 30円

・看取り介護加算1 … 144円

・看取り介護加算2 … 680円

・看取り介護加算3 … 1,280円

※上記合計にはその他加算は含まれておりません。該当する場合のみ各加算の金額を合計に足した金額が1ヶ月あたりの総額となります。

負担限度額 対象者		介護保険料負担段階
生活保護受給者		第1段階
世帯全員が 市町村民税 非課税者	高齢福祉年金受給者	第2段階
	課税年金収入額と合計所得の合計が80万円以下の方	第3段階
	利用者負担第2段階以外の方(課税年金収入額と合計所得の合計が80万円以上の方)	第4段階
上記以外の方(課税層)		第4段階

## 年間行事等実施計画

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他			
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容		
4月	20	誕生会			10	経営会議	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
	23 月2回	お楽しみ会 月例祭 音楽療法			上旬 15 25 下旬	リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会						
5月	上旬	春の遠足	23 月2回	月例祭 音楽療法	10	経営会議	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検 防火機器点検
	上旬 20	家族会 地域交流昼食会 誕生会 お楽しみ会			上旬 15 25 下旬	リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会						
6月	20	誕生会			10	経営会議	中旬 下旬	避難訓練(特養) 避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 健康診断(職員) 腰痛検査(職員)		電気設備点検
	23 月2回	お楽しみ会 月例祭 音楽療法			上旬 15 25 下旬	リーダー会議 ユニット会議 職員会議 KASW総会 衛生委員会						
7月	20	誕生会			10	経営会議	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
	23 月2回	お楽しみ会 月例祭 音楽療法			上旬 15 中旬 25 下旬	リーダー会議 ユニット会議 四国老人福祉関係者研修会 職員会議 衛生委員会						
8月	10	創立記念夏祭り			10	経営会議	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
	20 23	年次祭 会食会 月例祭 お楽しみ会			上旬 15 25 下旬	リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会						
9月	中旬	小豆島町敬老会			10	経営会議	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検 レジオネラ菌検査
	20 23 月2回	誕生会 月例祭 お楽しみ会 音楽療法			上旬 15 25 下旬	リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会						
10月	20	誕生会			10	経営会議	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
	23 月2回	お楽しみ会 月例祭 音楽療法			上旬 15 25 下旬	リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会						
11月	上旬	地域交流昼食会			10	経営会議	上旬	総合防災訓練(特養) (消防来所)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
	上旬 20 23 月2回	秋の遠足 誕生会 月例祭 お楽しみ会 音楽療法			上旬 15 25 下旬	リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会						

12月	上旬 10 20 28	お一人暮らし高齢者を励ます会 月例祭 クリスマス誕生忘年会 餅つき お楽しみ会			10 上旬 15 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
1月	1 2 3 20	元旦祭 初詣 茶話会 茶話会 茶話会 誕生会	23 月2回	月例祭 お楽しみ会 音楽療法	10 上旬 15 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 職員会議 香川県老施協研究大会 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
2月	20 23 月2回	誕生会 月例祭 お楽しみ会 音楽療法			10 上旬 15 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 職員会議 KASW研究大会 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 健康診断(職員)		電気設備点検
3月	20 23 月2回	誕生会 月例祭 お楽しみ会 音楽療法			10 上旬 15 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検 レジオネラ菌検査

# 職員研修計画

(リベラルサンシャイン)

月	内容	詳細
4月	新人職員研修	事故防止について・利用者対応について
5月	OJT研修	心肺蘇生
6月	勉強会	感染症予防について・食中毒
7月	勉強会	緊急時対応について
8月	OJT研修	心肺蘇生
9月	勉強会	事故防止について
10月	勉強会	感染症予防について
11月	OJT研修	心肺蘇生
12月	勉強会	虐待防止について
1月	勉強会	事故防止について
2月	OJT研修	心肺蘇生
3月	勉強会	看取り介護について

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
特別養護老人ホームリベラルサンシャイン別館

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

平成29年4月時点で186名だった入所待機者も定期的に精査した結果、平成30年2月末現在57名まで減少した。この背景には入所条件が要介護3以上であること、島内に特養、有料老人ホームがオープンしたことが要因と考えられる。当施設では平成29年10月1日より空床型ショートステイを新設した。

また、サービス内容の変化として終末期は看取り介護を希望する入所者が大半で年々増加傾向にある。看取り介護に関する適切な知識、技術を習得し、より一層他職種が連携しサービスを提供する必要がある。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）※入所、ショートの内容を記載

小豆島町在住の要介護3以上または特別な理由で在宅生活が困難な人を対象にユニット型の特徴を生かし、家庭的な雰囲気や居心地の良い環境で過ごしてもらうことを基盤とし、利用者の生活と人権を擁護するため常に誠意を持ち、個々の意思および人格を尊重した個別処遇と自立支援に取り組み、その人らしい生活に寄り添う支援に努める。

ショートステイ（空床型）は入院者等の空きベッドを使用し、食事、入浴、排泄、余暇活動等を提供する。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

(4) 施設行事や余暇活動の充実を図り利用者満足度を高める

## 4. 達成目標（新年の目標）（手法）

(1) 定期的にあセスメントを実施し適切な介護の提供と個別ケアの実践

→6ヵ月毎、もしくは状態の変化があった際には再アセスメントを行い本人に見合った介護が提供できているかケアプランの内容を確認する。

(2) 入所待機者の整理と情報の共有

→定期的に待機者の状況確認（待機場所、身体機能）を行い、本館・別館で情報を共有し、スムーズな入退所の手続きを行う。

(3) 機能訓練の充実を図り、身体機能を維持する

→歩行練習・体操等の機能訓練を実施し、筋力の維持を図る。

残存機能を活用した介護を提供する。

- (4) 施設行事や余暇活動の充実を図り利用者満足度を高める  
→利用者の意向に沿った行事や活動を毎月実施する。  
施設生活に楽しみを持てるよう支援する。
- (5) 外部研修への参加、報告会の開催  
→外部研修に参加し、ユニット会議で全職員に報告を行い、資質の向上を図る。
- (6) ヒヤリハット・事故報告書を分析し再発防止への取り組み  
→提出されたヒヤリハット・事故報告書を毎月分析し、同様の事故を繰り返さないように周知徹底する。
- (7) 各委員会の活発な活動と実践  
→各委員会の役割を再度確認し、サービスの質の向上に努める。  
毎月会議を行いユニット会議で取り組み内容を全職員に周知する。
- (8) 火災や風水害時の対応マニュアルの見直しと訓練の実施  
→マニュアルの見直しを行うと同時に風水害時の避難訓練を実施する。
- (9) 地域の行事に参加し地域住民との交流の機会を増やす  
→地域で開催されている行事に参加し、地域住民との関わりを持つ。
- (10) ショート稼働率年間95%  
→空床を使用
- (11) 職員間での意見交換の機会を持ち、サービスの質の向上、職員満足度を高める  
→毎月ユニット会議を開催し、自由な雰囲気意見交換できる機会を確保する。  
職員一人一人が仕事にやりがいや達成感を感じることが出来るような職場を作る。

5. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 ※長期・短期を含む職員配置

( )内は非常勤職員

生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員 機能訓練指導員	クリーンスタッフ	合計
1名	1名(兼務)	10名	4名	2名(2)	17名

- (2) 勤務パターン  
別紙のとおり

6. 定員(利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載)

- (1) 定員20名
- (2) 利用日、利用時間 24時間365日

7. 利用料金一覧

報酬改定により決定後の作成となるため添付なし

8. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

9. その他（上記に記載されていない内容）

特になし





# 特別養護老人ホームリベラルサンシャイン

# 料金一覧表

平成29年 4月 1日

〈従来型〉

## ●多床室

要介護度	介護福祉サービス費 一部負担分(月額)	負担限度額	食費(月額)	居住費(月額)	合計金額(月額)
介護度1	607 (547+18+6+22+14)	第1段階	300	0	27.210 円
		第2段階	390	370	41.010 円
		第3段階	650	370	48.810 円
		第4段階	1,380	840	84.810 円
介護度2	674 (614+18+6+22+14)	第1段階	300	0	29.220 円
		第2段階	390	370	43.020 円
		第3段階	650	370	50.820 円
		第4段階	1,380	840	86.820 円
介護度3	742 (682+18+6+22+14)	第1段階	300	0	31.260 円
		第2段階	390	370	45.060 円
		第3段階	650	370	52.860 円
		第4段階	1,380	840	88.860 円
介護度4	809 (749+18+6+22+14)	第1段階	300	0	33.270 円
		第2段階	390	370	47.070 円
		第3段階	650	370	54.870 円
		第4段階	1,380	840	90.870 円
介護度5	874 (814+18+6+22+14)	第1段階	300	0	35.220 円
		第2段階	390	370	49.020 円
		第3段階	650	370	56.820 円
		第4段階	1,380	840	92.820 円

## ●個室

要介護度	介護福祉サービス費 一部負担分(月額)	負担限度額	食費(月額)	居住費(月額)	合計金額(月額)
介護度1	607 (547+18+6+22+14)	第1段階	300	320	36.810 円
		第2段階	390	420	42.510 円
		第3段階	650	820	62.310 円
		第4段階	1,380	1,150	94.110 円
介護度2	674 (614+18+6+22+14)	第1段階	300	320	38.820 円
		第2段階	390	420	44.520 円
		第3段階	650	820	64.320 円
		第4段階	1,380	1,150	96.120 円
介護度3	742 (682+18+6+22+14)	第1段階	300	320	40.860 円
		第2段階	390	420	46.560 円
		第3段階	650	820	66.360 円
		第4段階	1,380	1,150	98.160 円
介護度4	809 (749+18+6+22+14)	第1段階	300	320	42.870 円
		第2段階	390	420	48.570 円
		第3段階	650	820	68.370 円
		第4段階	1,380	1,150	100.170 円
介護度5	874 (814+18+6+22+14)	第1段階	300	320	44.820 円
		第2段階	390	420	50.520 円
		第3段階	650	820	70.320 円
		第4段階	1,380	1,150	102.120 円

上記の負担額に介護職員処遇改善加算※が加わります

### 内訳(月額)

介護福祉施設サービス費、サービス提供体制強化加算(18円)、看護体制加算I(6円)

夜勤職員配置加算I(22円)、栄養ケアマネジメント加算(14円)

※介護職員処遇改善加算I(月の実総単位数×8.3%の1割負担(月により変動))

### その他加算(月額) (該当する場合のみ)

・外泊時費用 … 246円

・初期加算 … 30円

・看取り介護加算1 … 144円

・看取り介護加算2 … 680円

・看取り介護加算3 … 1,280円

※上記合計にはその他加算は含まれておりません。該当する場合のみ各加算の金額を合計に足した金額が1ヶ月あたりの総額となります。

負担限度額 対象者		介護保険料負担段階
生活保護受給者		第1段階
世帯全員が 市町村民税 非課税者	高齢福祉年金受給者	第2段階
	課税年金収入額と合計所得の合計が80万円以下の方	第3段階
	利用者負担第2段階以外の方(課税年金収入額と合計所得の合計が80万円以上の方)	第4段階
上記以外の方(課税層)		第4段階

## 年間行事等実施計画

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	20 23 月2回	誕生会 お楽しみ会 月例祭 音楽療法			10 上旬 20 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
5月	上旬 上旬 20 23	春の遠足 家族会 地域交流昼食会 誕生会 お楽しみ会 月例祭	月2回	音楽療法	10 上旬 20 23 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 運営推進会議 職員会議 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検 防火機器点検
6月	20 23 月2回	誕生会 月例祭 お楽しみ会 音楽療法			10 上旬 20 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 職員会議 KASW総会 衛生委員会	中旬 下旬	避難訓練(特養) 避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 健康診断(職員) 腰痛検査(職員)		電気設備点検
7月	20 23 月2回	誕生会 月例祭 お楽しみ会 音楽療法			10 上旬 20 23 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 運営推進会議 職員会議 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
8月	10 20 23	創立記念夏祭り 年次祭 誕生会 月例祭 お楽しみ会			10 上旬 20 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
9月	中旬 20 23 月2回	小豆島町敬老会 誕生会 月例祭 お楽しみ会 音楽療法			10 上旬 20 23 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 運営推進会議 職員会議 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検 レジオネラ菌検査
10月	20 23 月2回	誕生会 月例祭 お楽しみ会 音楽療法			10 上旬 20 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
11月	上旬 上旬 上旬 20 23	地域交流昼食会 秋の遠足 家族会 誕生会 月例祭 お楽しみ会	月2回	音楽療法	10 上旬 20 23 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 運営推進会議 職員会議 衛生委員会	上旬	総合防災訓練(特養) (消防来所)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検 防火機器点検

12月	上旬 10 20 28	お一人暮らし高齢者を励ます会 月例祭 クリスマス誕生忘年会 餅つき お楽しみ会			10 上旬 20 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 職員会議 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検
1月	1 2 3 20 23	元旦祭 初詣 茶話会 茶話会 茶話会 誕生会 月例祭	23 月2回	お楽しみ会 音楽療法	10 上旬 20 23 25 下旬 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 運営推進会議 職員会議 香川県老協研究大会 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 胸部レントゲン		電気設備点検
2月	20 23 月2回	誕生会 月例祭 お楽しみ会 音楽療法			10 上旬 20 25 下旬 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 職員会議 KASW研究大会 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 健康診断(職員)		電気設備点検
3月	20 23 月2回	誕生会 月例祭 お楽しみ会 音楽療法			10 上旬 20 23 25 下旬	経営会議 リーダー会議 ユニット会議 運営推進会議 職員会議 衛生委員会	下旬	避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 日曜/週 月末	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定		電気設備点検 レジオネラ菌検査

# 職員研修計画

(リベラルサンシャイン別館)

月	内容	詳細
4月	新人職員研修	事故防止について・利用者対応について
5月	OJT研修	心肺蘇生
6月	勉強会	感染症予防について・食中毒
7月	勉強会	緊急時対応について
8月	OJT研修	心肺蘇生
9月	勉強会	事故防止について
10月	勉強会	感染症予防について
11月	OJT研修	心肺蘇生
12月	勉強会	虐待防止について
1月	勉強会	事故防止について
2月	OJT研修	心肺蘇生
3月	勉強会	看取り介護について

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
デイサービスセンターサンシャイン

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

通いと泊りが一体化になっている小規模多機能施設の増加に伴う待機利用者の減少。  
要介護3以上の人の特養入所に伴う通所介護利用者の介護度の軽度化による収入減。  
特養、老健、小規模多機能型施設等への入所、登録待ちの利用者の増加。  
認知症の進行、身体レベル低下に伴うショートステイ利用希望者の増加。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

介護保険の基本理念に従い、その人の生活・人生を尊重し、できる限り自立した生活を在宅で送れるようにすることを目的とする。

平成30年度の介護報酬改正では提供時間を2時間毎から1時間毎に区切る（案）もあり、現在の介護報酬より下がることが予想できる。そのためにはまずは利用登録者100%の確保が必要であるが、新規施設の増加や特養、老健等への入所により待機者も減少しているため定員を30名から25名に減らし、職員配置及びサービス内容の見直しを行う。

また、要介護1・2の利用者が中心であるが歩行状態が不安定な利用者も増えている。在宅生活を維持するために機能維持に向けた取り組みが必要。機能訓練だけではなくレクリエーションを通して体を動かす機会を増やす。機能維持を行うことで転倒事故等の防止に繋げていく。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

(1) 利用登録者100%の確保と稼働率の向上と安定

## 4. 達成目標（新年の目標）（手法）

(1) 利用登録者100%の確保と稼働率の向上と安定

→各居宅介護支援事業所への空き状況の報告及び臨時利用の受け入れを実施

(2) 幅広いニーズへの対応、利用率向上に適應する送迎体制及び事務的業務の合理化

→急な身体レベルの低下により送迎車両の調整、

(3) 事故報告書の分析による事故防止並びに再発防止への取り組み

→その都度の危険行為等の注意及び事故防止委員による再発防止に関する周知

(4) 職員の資質・介護技術向上のための研修・勉強会の実施

→外部研修への参加及び毎月ケア会議時の各委員会(感染予防・事故防止・尊厳保護)実施

(5) 介護予防、認知症ケア、苦情対応、安全・健康管理に関する専門知識と技術の向上

→書籍、ネット等による情報の収集および衛生委員会での情報の共有

- (6) 利用者の快適性を確保する環境改善や機能訓練内容、レク材等の充実化  
→年度末アンケート結果による利用者要望の検討及び取り入れ、新規レクの考案

【本部】

- (1) 全職員共通意識を持ち利用者の個々のニーズ把握と対応方法の向上  
→随時の情報共有とケア会議での対応方法の検討
- (2) 再発事故ゼロに向けての取り組み  
→事故防止委員会での再発防止に向けての具体的内容の周知およびその都度の職員間の声かけ

5. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 11名（うち非常勤職員8名、非常勤運転手1名）
- (2) 勤務パターン
- |   |             |
|---|-------------|
| K | 8：00～17：00  |
| △ | 8：30～12：30  |
| I | 9：00～13：00  |
| H | 13：00～17：00 |

6. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

- (1) 定員 25名
- (2) 利用日、利用時間  
月曜日～土曜日（年末年始12／31～1／3を除く）  
8：00～17：00（サービス提供時間9：00～16：15）
- (3) 実施地域 原則として小豆島福祉圏域（離島を除く）

7. 利用料金一覧

報酬改定により決定後の作成となるため添付なし

8. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

9. その他（上記に記載されていない内容）

- ・マッサージ器の購入

デイサービスセンターサンシャイン 利用料金表

		合計金額	基本料金	サービス提供強化加算I2	入浴	食事料金	介護職員処遇改善加算
要支援1	1割	1,719円/月	1,647円/月	72円/月	なし	500円/日	1ヶ月の実 利用 単位 数×5.9%
	2割	3,438円/月	3,294円/月	144円/月			
要支援2	1割	3,491円/月	3,377円/月	114円/月			
	2割	6,982円/月	6,754円/月	228円/月			
要介護1	1割	724円/日	656円/日	18円/日	50円/日		
	2割	1,398円/日	1,312円/日	36円/日			
要介護2	1割	843円/日	775円/日	18円/日			
	2割	1,636円/日	1,550円/日	36円/日			
要介護3	1割	966円/日	898円/日	18円/日			
	2割	1,882円/日	1,796円/日	36円/日			
要介護4	1割	1,089円/日	1,021円/日	18円/日			
	2割	2,128円/日	2,042円/日	36円/日			
要介護5	1割	1,212円/日	1,144円/日	18円/日			
	2割	2,374円/日	2,288円/日	36円/日			

※上記合計金額には食事料金が含まれていません。

※上記合計金額には介護職員処遇改善加算は含まれていません。(月により変動する為)



# 年間行事等実施計画

デイサービスセンターサンシャイン

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	1週	お花見ドライブ	5週	運動レク 音楽療法	10	経営会議						
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(感染症)						
	3週	頭脳レク			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						
5月	1週	運動レク	5週	新緑ドライブ 音楽療法	10	経営会議	防災訓練					地域支援事業(第1期)
	2週	頭脳レク			20	ケア会議・施設内研修(事故防止)						
	3週	運動レク			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						
6月	1週	新緑ドライブ	5週	運動レク 音楽療法	10	経営会議			職員健康診断			地域支援事業(第1期)
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(尊厳保護)						
	3週	頭脳レク			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						
7月	1週	運動レク	5週	ミニ夏祭り 音楽療法	10	経営会議						地域支援事業(第1期)
	2週	頭脳レク			20	ケア会議・施設内研修(感染症)						
	3週	運動レク			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						
8月	1週	ミニ夏祭り	5週	運動レク 音楽療法	10	経営会議						
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(事故防止)						
	3週	頭脳レク			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						
9月	1週	運動レク	5週	運動レク 音楽療法	10	経営会議						地域支援事業(第2期)
	2週	敬老会			20	ケア会議・施設内研修(尊厳保護)						
	3週	頭脳レク			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						
10月	1週	運動レク	5週	運動レク 音楽療法	10	経営会議						地域支援事業(第2期)
	2週	頭脳レク			20	ケア会議・施設内研修(感染症)						
	3週	運動会			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						
11月	1週	運動レク	5週	紅葉狩りドライブ 音楽療法	10	経営会議	総合防災訓練		インフルエンザ予防接種			地域支援事業(第2期)
	2週	頭脳レク			20	ケア会議・施設内研修(事故防止)						
	3週	運動レク			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						
12月	1週	紅葉狩りドライブ	5週	クリスマス会 音楽療法	10	経営会議	消防立ち入り検査					
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(尊厳保護)						
	3週	頭脳レク			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						
1月	1週	初詣・正月あそび	5週	運動レク 音楽療法	10	経営会議						地域支援事業(第3期)
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(感染症)						
	3週	運動レク			25	職員会議						
	4週	頭脳レク			中旬	衛生委員会						
2月	1週	運動レク	5週	運動レク 音楽療法	10	経営会議						地域支援事業(第3期)
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(事故防止)						
	3週	頭脳レク			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						
3月	1週	運動レク	5週	運動レク 音楽療法	10	経営会議						地域支援事業(第3期)
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(尊厳保護)						
	3週	頭脳レク			25	職員会議						
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会						

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
デイサービスセンター 北のおひさま

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

伊喜末、屋形崎に続き、平成30年5月に大部地区に他事業所の小規模多機能施設が新設される予定。利用希望者の待機数が激減している。介護度の重度化により特養やグループホーム入所や短期入所生活介護の利用が増え、登録数は満たしていても利用しない日が続く等稼働率に影響している。

少子高齢化が急激に進行し、家族構成の変化が著しい中、必要な支援を必要な方に届ける必要性が益々高まって来ている。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

介護保険の基本理念に従い、その人の生活・人生を尊重し、できる限り自立した生活を在宅で送れるようにすることを目的とする。

北のおひさまでは「総合事業」の利用者の割合が増加している。引き続き、要支援状態の方を受け入れ、機能訓練を継続して行い、要介護状態に進行する事を予防していく。身体機能のみならず、利用者間の交流の場となり、生きがいや精神の向上に繋がる憩いの場としてのデイサービスを目指す。

安全第一を常に念頭に置き、事故防止に努め、利用者やその家族を総合的に支援していく。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

(1) 利用登録者100%の確保と稼働率の向上と安定

## 4. 達成目標（新年の目標）（手法）

(1) 利用登録者100%の確保と稼働率の向上と安定

→各居宅介護支援事業所への空き状況の報告及び臨時利用の受け入れを実施

(2) 幅広いニーズへの対応、利用率向上に適應する送迎体制及び事務的業務の合理化

→急な身体レベルの低下により送迎車両の調整、

(3) 事故報告書の分析による事故防止並びに再発防止への取り組み

→その都度の危険行為等の注意及び事故防止委員による再発防止に関する周知

(4) 職員の資質・介護技術向上のための研修・勉強会の実施

→外部研修への参加及び毎月ケア会議時の各委員会(感染予防・事故防止・尊厳保護)実施

(5) 介護予防、認知症ケア、苦情対応、安全・健康管理に関する専門知識と技術の向上

→書籍、ネット等による情報の収集および衛生委員会での情報の共有

(6) 利用者の快適性を確保する環境改善や機能訓練内容、レク材等の充実化

→年度末アンケート結果による利用者要望の検討及び取り入れ、新規レクの考案

## 【北のおひさま】

- (1) 接遇及び職員の資質を向上し、幸福感を感じて頂くようサービスの向上を図る  
→職員の真心のこもった声掛け、丁寧な言葉使いによる支援。  
→言葉使いの勉強会と接遇に伴った対応で支援し今後も継続。
- (2) 利用キャンセルの減少の工夫と新規利用者の確保  
→登録抹消になった場合、次の利用者の新規契約を速やかに行い、登録数を確保。  
体調不良以外の利用キャンセルを減少させるため、デイサービスに行きたくなるような付加価値のあるサービスやレクリエーションの工夫。  
→交通事業で送迎ルートの調整が必要であった。新規利用者増加に向けて今後も新規契約登録数を確保する

## 5. 職員体制・勤務状況等

(1) 人員 8名（うち非常勤職員6名）

(2) 勤務パターン

K 8：00～17：00

## 6. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

(1) 定員 25名

(2) 利用日、利用時間

月曜日～土曜日（年末年始12／31～1／3を除く）

8：00～17：00（サービス提供時間9：00～16：15）

(3) 実施地域 原則として小豆島福祉圏域（離島を除く）

## 7. 利用料金一覧

報酬改定により決定後の作成となるため添付なし

## 8. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

## 9. その他（上記に記載されていない内容）

車椅子2台

デイサービスセンター北のおひさま 利用料金表

		合計金額	基本料金	サービス提供強化加算(1)イ	入浴	食事料金	介護職員処遇改善加算
要支援1	1割	1,719円/月	1,647円/月	72円/月	なし	500円/日	1ヶ月の実 利用 単 位数×5.9%
	2割	3,438円/月	3,294円/月	144円/月			
要支援2	1割	3,521円/月	3,377円/月	144円/月			
	2割	7,042円/月	6,754円/月	288円/月			
要介護1	1割	724円/日	656円/日	18円/日	50円/日		
	2割	1,398円/日	1,312円/日	36円/日			
要介護2	1割	843円/日	775円/日	18円/日			
	2割	1,636円/日	1,550円/日	36円/日			
要介護3	1割	966円/日	898円/日	18円/日			
	2割	1,882円/日	1,796円/日	36円/日			
要介護4	1割	1,089円/日	1,021円/日	18円/日			
	2割	2,128円/日	2,042円/日	36円/日			
要介護5	1割	1,212円/日	1,144円/日	18円/日			
	2割	2,374円/日	2,288円/日	36円/日			

※上記合計金額には食事料金が含まれていません。

※上記合計金額には介護職員処遇改善加算は含まれていません。(月により変動する為)

# 年間行事等実施計画

デイサービスセンター北のおひさま

項目 月	行 事		職 員 研 修・職 員 会 議 等		災 害 訓 練		健 康 管 理・衛 生 管 理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	1週	お花見ドライブ	5週	運動レク	10	経営会議				
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(感染症)				
	3週	頭脳レク			25	職員会議				
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会				
5月	1週	運動レク	5週	新緑ドライブ	10	経営会議	防災訓練			
	2週	頭脳レク		音楽療法	20	ケア会議・施設内研修(事故防止)				
	3週	運動レク			25	職員会議				
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会				
6月	1週	新緑ドライブ	5週	運動レク	10	経営会議		職員健康診断		
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(尊厳保護)				
	3週	頭脳レク			25	職員会議				
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会				
7月	1週	運動レク	5週	ミニ夏祭り	10	経営会議				
	2週	頭脳レク		音楽療法	20	ケア会議・施設内研修(感染症)				
	3週	運動レク			25	職員会議				
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会				
8月	1週	ミニ夏祭り	5週	運動レク	10	経営会議				
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(事故防止)				
	3週	頭脳レク			25	職員会議				
	4週	運動レク								
9月	1週	運動レク	5週	運動レク	10	経営会議				
	2週	敬老会		音楽療法	20	ケア会議・施設内研修(尊厳保護)				
	3週	頭脳レク			25	職員会議				
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会				
10月	1週	運動レク	5週	運動レク	10	経営会議				
	2週	頭脳レク			20	ケア会議・施設内研修(感染症)				
	3週	運動会			25	職員会議				
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会				
11月	1週	運動レク	5週	紅葉狩りドライブ	10	経営会議	総合防災訓練	インフルエンザ予防接種		
	2週	頭脳レク		音楽療法	20	ケア会議・施設内研修(事故防止)				
	3週	運動レク			25	職員会議				
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会				
12月	1週	紅葉狩りドライブ	5週	クリスマス会	10	経営会議	消防立ち入り検査			
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(尊厳保護)				
	3週	頭脳レク			25	職員会議				
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会				
1月	1週	初詣・正月あそび	5週	運動レク	10	経営会議				
	2週	運動レク		音楽療法	20	ケア会議・施設内研修(感染症)				
	3週	運動レク			25	職員会議				
	4週	頭脳レク			中旬	衛生委員会				
2月	1週	運動レク	5週	運動レク	10	経営会議				
	2週	運動レク			20	ケア会議・施設内研修(事故防止)				
	3週	頭脳レク			25	職員会議				
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会				
3月	1週	運動レク	5週	運動レク	10	経営会議				
	2週	運動レク		音楽療法	20	ケア会議・施設内研修(尊厳保護)				
	3週	頭脳レク			25	職員会議				
	4週	運動レク			中旬	衛生委員会				

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
デイサービスセンター サンライズ西村

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

小豆島（同町内）にもデイサービスや他施設が次々と増えてきており、利用者の人数を確保し集客していくには、他施設にはない強み、独自性やサービスを考えていく必要がある。また、地域やケアマネジャーなど他機関との連携や繋がりがより一層大切になってくると思われる。それ以外にもレクリエーションや日中の過ごし方、職員の対応の仕方など、時代によって利用者のニーズや環境は変わっている為、今まで通りのサービスを同じようにしても受け入れられない場合や満足されない場合があると思われる。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

デイサービスの最大の目的は、利用者が望む「生涯在宅で」という思いをかなえるために、いかに日常生活をサポートしていくかが重要と考えられる。そのために、本人への自立支援、家族との連携、家族の思いの傾聴、各サービス機関との連携の充実を図る。そして、利用者の満足度は稼働率にも比例するため、稼働率向上と安定の為に余暇活動の充実や職員接遇方法の向上を図る。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

(1) 利用登録者100%の確保と稼働率の向上と安定

## 4. 達成目標（新年の目標）（手法）

(1) 利用登録者100%の確保と稼働率の向上と安定

→各居宅介護支援事業所への空き状況の報告及び臨時利用の受け入れを実施

(2) 幅広いニーズへの対応、利用率向上に適應する送迎体制及び事務的業務の合理化

→急な身体レベルの低下による送迎車両の調整

(3) 事故報告書の分析による事故防止並びに再発防止への取り組み

→その都度の危険行為等の注意及び事故防止委員による再発防止に関する周知

(4) 職員の資質・介護技術向上のための研修・勉強会の実施

→外部研修への参加及び毎月ケア会議時の各委員会(感染予防・事故防止・尊厳保護)実施

(5) 介護予防、認知症ケア、苦情対応、安全・健康管理に関する専門知識と技術の向上

→書籍、ネット等による情報の収集および衛生委員会での情報の共有

(6) 利用者の快適性を確保する環境改善や機能訓練内容、レク材等の充実化

→年度末アンケート結果による利用者要望の検討及び取り入れ、新規レクの考案

## 【サンライズ西村】

(1) 利用登録者を増やし、稼働率の向上と安定を図る。

→他事業所やケアマネとの連携を図り、利用者の健康状態の維持と満足度の向上に努める。

→新規利用者を確保しても、ADL の低下等で施設入所や長期入院で登録抹消者が増加し、稼働率向上には至っていない。ショートステイの利用でデイサービスの利用日数が減少している事もあるため、利用日以外でショートステイを利用する等ケアマネに働きかけていく。

(2) 個人の状態を把握し、利用者の能力に応じたサービスを提供する

→日々の状態把握と情報共有を行い、全職員が通所介護計画書に沿ったサービス提供と、利用者一人ひとりの立場に立ったサービスを提供して、利用者にとって必要なサービスを察知する。

→限られた職員の中で充実したサービスが提供できるよう、必要時には業務の見直しを行っている。また、ケア会議では職員間で情報共有を行い、利用者に合わせてサービス提供ができるように努めている。

(3) 笑顔で優しく、利用者、家族に対し節度を持った言葉遣いで尊敬の気持ちを持って接していく

→笑顔を忘れず、ゆとりをもって利用者に接することは利用者のやる気、満足度につながる。また、当たり前のことを目標にあげることにより、もう一度、「何が介護をするうえで大切か」を再認識する。

→接遇の勉強会を行い、職員のサービスの質の向上に取り組んでいる。

## 5. 職員体制・勤務状況等

(1) 人員 6名（うち非常勤職員4名）

(2) 勤務パターン

K 8:00～17:00

## 6. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

(1) 定員 20名

(2) 利用日、利用時間

月曜日～土曜日（年末年始12/31～1/3を除く）

8:00～17:00（サービス提供時間9:00～16:15）

(3) 実施地域 原則として小豆島福祉圏域（離島を除く）

## 7. 利用料金一覧

報酬改定により決定後の作成となるため添付なし

## 8. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

## 9. その他（上記に記載されていない内容）

・マッサージ機の購入

- ・リビングの机 5 台の修理または購入



デイサービスセンターサンシャイン 利用料金表

		合計金額	基本料金	サービス提供強化加算I2	入浴	食事料金	介護職員処遇改善加算
要支援1	1割	1,719円/月	1,647円/月	72円/月	なし	500円/日	1ヶ月の実 利用 単位 数×5.9%
	2割	3,438円/月	3,294円/月	144円/月			
要支援2	1割	3,491円/月	3,377円/月	114円/月			
	2割	6,982円/月	6,754円/月	228円/月			
要介護1	1割	724円/日	656円/日	18円/日	50円/日		
	2割	1,398円/日	1,312円/日	36円/日			
要介護2	1割	843円/日	775円/日	18円/日			
	2割	1,636円/日	1,550円/日	36円/日			
要介護3	1割	966円/日	898円/日	18円/日			
	2割	1,882円/日	1,796円/日	36円/日			
要介護4	1割	1,089円/日	1,021円/日	18円/日			
	2割	2,128円/日	2,042円/日	36円/日			
要介護5	1割	1,212円/日	1,144円/日	18円/日			
	2割	2,374円/日	2,288円/日	36円/日			

※上記合計金額には食事料金が含まれていません。

※上記合計金額には介護職員処遇改善加算は含まれていません。(月により変動する為)

# 年間行事等実施計画

デイサービスセンターサンライズ西村

項目 月	行 事				職員研修・職員会議等			災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	
4月	1週	運動レク	5週	運動レク 大正琴	1	新任職員研修							
	2週	花見ドライブ(外出)			10	経営会議							
	3週	頭脳レク			20	ケア会議							
	4週	カレンダー作り			25	職員会議							
5月	1週	運動レク	5週	頭脳レク 大正琴	10	経営会議	上旬	防災訓練					
	2週	頭脳レク			20	ケア会議							
	3週	運動レク			25	施設内研修(健康・衛生管理研修)							
	4週	カレンダー作り			25	職員会議							
6月	1週	運動レク	5週	運動レク 大正琴	10	経営会議				職員健康診断			
	2週	頭脳レク			20	ケア会議							
	3週	新緑巡り(外出)			25	職員会議							
	4週	カレンダー作り											
7月	1週	運動レク	5週	頭脳レク 大正琴	10	経営会議							
	2週	頭脳レク			20	ケア会議							
	3週	運動レク			25	職員会議							
	4週	カレンダー作り											
8月	1週	頭脳レク	5週	カレンダー作り 大正琴	10	経営会議							
	2週	ミニ夏祭り			20	ケア会議							
	3週	運動レク			25	施設内研修(アクティビティ研修)							
	4週	頭脳レク			25	職員会議							
9月	1週	運動レク	5週	運動レク 大正琴	10	経営会議							
	2週	敬老会			20	ケア会議							
	3週	頭脳レク			25	職員会議							
	4週	カレンダー作り											
10月	1週	運動レク	5週	運動レク 大正琴	10	経営会議							
	2週	運動会			20	ケア会議							
	3週	頭脳レク			25	職員会議							
	4週	カレンダー作り											
11月	1週	運動レク	5週	運動レク 大正琴	10	経営会議	上旬	防災訓練		インフルエンザ予防接種			
	2週	頭脳レク			20	ケア会議							
	3週	紅葉巡り(外出)			25	施設内研修(個人情報・プライバシー研修)							
	4週	カレンダー作り			25	職員会議							
12月	1週	頭脳レク	5週	作業レク 大正琴	20	デイ会議(個別ケア会議)							
	2週	運動レク			25	職員会議							
	3週	クリスマス会											
	4週	カレンダー作り											
1月	1週	初詣・正月遊び	5週	運動レク 大正琴	10	経営会議							
	2週	初詣・正月遊び			20	ケア会議							
	3週	頭脳レク			25	職員会議							
	4週	カレンダー作り											
2月	1週	頭脳レク・節分(豆まき)		大正琴	10	経営会議							
	2週	運動レク			20	ケア会議							
	3週	カレンダー作り			25	施設内研修(苦情対応研修)							
	4週	頭脳レク			25	職員会議							
3月	1週	運動レク・ひな祭り	5週	頭脳レク 大正琴	10	経営会議							
	2週	頭脳レク			20	ケア会議							
	3週	運動レク			25	職員会議							
	4週	カレンダー作り											

# 平成31年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
グループホーム 北のおひさま

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

町内に小規模多機能型居宅介護施設が増え、通所介護事業所も増えたことにより、在宅生活の継続が可能となったためと、介護付き有料老人ホームへの入所もあり、当ホームへの入居希望者が、極端に減少している。申し込みをして順番が来ても入居には至らないケースが多い。入居者は安定した生活が送れており入退居が少ない。

## 2. 概要・目的（運営・サービス・ケア等の方針）

### 【グループホーム「北のおひさま」の目的】

要支援2以上と認定された認知症高齢者を受け入れ、家庭的な環境のもとで、一人ひとりが日常生活を営むことができるよう各種サービスを提供することを目的としています。

### 【グループホーム「北のおひさま」の方針】

少人数の家庭的な雰囲気の中で、家族・地域社会との関係を保ち、その人らしく自立した生活ができるような環境作りを行います。

### 【31年度方針】

認知症のパーソンセンタードケアを理念として、職員の専門性の維持向上を目指す。行動障害に対する臨機応変な対応の強化を図りたい。個人の状態を把握することで、ケアプランの充実を図り、入居者の生活の質の向上、サービスの質の向上を目標としてその人らしく生活できるように引き続き支援を行いたい。主治医とより連携を図り健康管理に努めたい。地域行事に継続的に参加し交流・連携を強化し当施設への行事等の参加協力をお願いする。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

### （1）入居者希望の確保

## 4. 達成目標（手法）

### （1）入居者希望の確保

→連携事業所へのパンフレット配布と、事業所への希望者の確認

### （2）入居者の認知症進行に対応する個別ケアの実践

→管理者・計画作成担当者と介護職員との連携の強化

### （3）地域住民等との交流・連携の強化

→地元のなかよしカフェへの参加継続

→おもてなしカフェ・オレンジかふえの参加要請

### （4）認知症ケア、行動障害対応の技術向上

→施設外・施設内研修の参加率アップ

### （5）地域貢献活動の実施

→施設周囲の清掃活動

(6) 必要箇所の修繕、設備器具等の環境整備

→業務に支障のある修繕、設備器具等は投資する。

(7) 職員の接遇マナー、介護の心得等、利用者・家族対応についての意識向上

→職員会議、ユニット会議で話し合う機会を持つ。

#### 5. 職員体制・勤務状況等

(1) 人員 13名 (うち非常勤職員 3名)

(2) 勤務パターン

A 7:00～16:00 (1時間休憩)

B 8:30～17:30 (1時間休憩)

C 12:30～21:30 (1時間休憩)

◎ 21:30～ 7:00 (1時間30分休憩)

#### 6. 定員 (利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載)

(1) 定員 18名 (2ユニット)

(2) 利用日、利用時間

24時間365日

#### 7. 利用料金一覧

別紙、料金表のとおり

#### 8. 行事、研修、訓練等

別紙のとおり

#### 9. その他 (上記に記載されていない内容)

設備・備品の故障による購入

## 平成31年度年間行事等実施計画

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他			
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容		
4月		おもてなしカフェ 家族会		お花見・お菓子作り		新人研修 職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会		避難訓練		衛生委員会	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
5月		おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		遠足		職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会 身体拘束適正化研修会		避難訓練		衛生委員会	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
6月		おもてなしカフェ 家族会		ホテル見物		職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会		避難訓練		衛生委員会 職員健康診断	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
7月		おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		バーベキュー		職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会		避難訓練		衛生委員会	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
8月		おもてなしカフェ 家族会		本部夏祭り		職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会		避難訓練			1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
9月		おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		外食・カラオケ		職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会		避難訓練		衛生委員会	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
10月		おもてなしカフェ 家族会		お祭り		職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会 身体拘束適正化研修会		避難訓練		衛生委員会	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
11月		おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		紅葉狩り		職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会		消防署員派遣避難訓練		衛生委員会	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
12月		おもてなしカフェ 家族会		クリスマス会		職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会		避難訓練		衛生委員会(講話)	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
1月		おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		初詣 新年会		職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会		避難訓練(地震)		衛生委員会	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
2月		おもてなしカフェ 家族会		豆まき		職員会議 ユニット会議(施設内研修) 認知症研究会		避難訓練		衛生委員会 職員健康診断	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会
3月		おもてなしカフェ 家族会		ひな祭り		職員会議 ユニット会議(施設内研修)		避難訓練		衛生委員会	1	安全点検日 北浦幼稚園交流会

運営推進会議

認知症研究会

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
居宅介護支援事業所サンシャイン

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

特養の入所要件が要介護3より重度に限定され、軽度の利用者が在宅を基本とする方向となった一方で、在宅利用者の細かなニーズに対応できるサービスは、高松など本土に比べて極端に少なく、また小豆島の中でもさらに過疎地においては利用できるサービスがさらに限定されるのが実態。介護認定を受ける利用者は未だ増加しており、プランの依頼は絶えずあるが、高齢化率の高い小豆島では独居高齢者も多く、介護者の問題から、入所施設や有料老人ホーム、その他の長期滞在型のサービスに移行せざるを得ない事例も多々ある。

事業所としては、法改正により2021年より管理者が主任介護支援専門員に限定されるため、3年の経過措置期間中に主任介護支援専門員の資格取得が必須となる。将来を見越し、管理者以外の介護支援専門員も随時主任介護支援専門員の資格を取得していくことが望ましい（要件は5年間の専従実績、その後の研修70時間）

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

利用者の課題を抽出し、その課題と利用者の要望、家族の意向を尊重した上で適切なサービスを提案する。サービス事業者および職種間での連携をつかさどり、課題に対応したサービス提供へつなげる。地域包括ケアシステムに向け、各事業所や医療機関、住民との関係性を構築し、住み慣れた在宅で生活を継続できるよう総合的な援助を担う。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

(4) 在宅療養者に対するサポート、相談支援業務の確立

## 4. 達成目標（新年の目標）（手法）

(1) 登録者の確保と稼働率の向上と安定

→登録数、稼働率は安定の傾向にあるため、今後も維持する

(2) 居宅介護支援業務（ケアプラン作成、担当者会議やモニタリング等記録の仕方）の適切な実施

→将来的に主任介護支援専門員の有資格者を主軸とし、事業所内で業務の質を高める

(3) 地域包括ケアシステムによる地域づくりへの取り組み体制への参加協力を行う

→両町の地域包括支援センターとの関わりや小豆圏域介護支援専門員協議会への参加

(4) 在宅療養者に対するサポート、相談支援業務の確立

→介護だけでなく、地域福祉や医療なども含めた総合的な相談援助を行う

(5) 多職種の連携を図り、チームの中心的役割を担う

→サービス事業者や地域住民、医療をつなげる総合的な援助の中核となる

(6) 認知症高齢者に対する理解を深め、住み慣れた地域で生活が続けられる様に在宅支援を行う

→近隣住民や民生委員など地域の協力者を得られるよう働きかける

(7) 研修・勉強会等に参加し、知識向上に努める

→小豆圏域介護支援専門員研修会に参加し、地域の情報、ケアマネジメントの困難事例を参考に知識を高める

## 5. 職員体制・勤務状況等

(1) 人員 6名 (兼務 5名)

(2) 勤務パターン

K 8:00~17:00      B 8:30~17:30

## 6. 定員

(1) 定員 (担当件数)

専従 (管理者) : 一人あたり35件まで

兼務 : 状況に合わせて件数を調整

(2) 利用日、利用時間

8:30~17:30 (土日祝および1月1日~3日を除く)

(3) 実施地域

小豆郡内 (豊島地区を除く)

## 7. 利用料金一覧

利用者負担なし

## 8. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

## 9. その他

なし



## 年間行事等実施計画

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月					初旬	勉強会(居宅介護支援業務)						
					10	経営会議			下旬	衛生委員会		
					25	職員会議・勉強会						
5月					10	経営会議						
					25	職員会議・勉強会			下旬	衛生委員会		
6月					9	経営会議						
					中旬	小豆島町介護支援専門員研修			下旬	衛生委員会		
					23	職員会議・勉強会						
7月					10	経営会議						
					25	職員会議・勉強会			下旬	衛生委員会		
8月					10	経営会議						
					25	職員会議・勉強会			下旬	衛生委員会		
9月					8	経営会議			中旬	職員健康診断		
					中旬	小豆島町介護支援専門員研修			下旬	衛生委員会		
					25	職員会議・勉強会						
10月					10	経営会議						
					25	職員会議・勉強会			下旬	衛生委員会		
11月					10	経営会議						
					24	職員会議・勉強会			下旬	衛生委員会		
12月					8	経営会議						
					中旬	小豆島町介護支援専門員研修			下旬	衛生委員会		
					25	職員会議・勉強会						
1月					10	経営会議						
					25	職員会議・勉強会			下旬	衛生委員会		
2月					9	経営会議						
					23	職員会議・勉強会			下旬	衛生委員会		
3月					9	経営会議						
					中旬	小豆島町介護支援専門員研修			下旬	衛生委員会		
					23	職員会議・勉強会						

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
訪問介護事業所サンシャイン

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

介護：小豆島に小規模多機能型居宅介護事業が増えて以降、特に土庄町の居宅介護支援事業所からの依頼が激減し、在宅利用者は減少をたどっている。一方で、同法人の軽費老人ホーム入居者の虚弱化により軽費老人ホームへのサービス提供は増加傾向にある。

障害：ここ数年は利用者の増減なし。ただ、対象者が介護の利用者より若いため、依頼を受けるとその後の利用は長期となる傾向にある。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）※高齢、障がいの内容を記載

介護：利用者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を送れるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活にわたる援助を行う。また、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携と情報の共有を図り、プランに基づいたサービス提供に努める。

障害：個々の身体状況に応じて、相談支援事業所との連携と情報の共有を図り、プランに基づいたサービスの提供を行う。

## 3. 部門目標

(7) 訪問介護計画にそった介護、目標達成できるサービス提供と記録の改善

## 4. 達成目標（新年の目標）（手法）

(1) 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障害者施設等の連携と情報の共有

→事業所間の連絡、報告を密に行い情報を共有する

(2) ヘルパー同士の情報共有に努め、個別援助での気づきを持ちながら質の高いサービス提供の実施

→記録を共有し、サービス内容の統一を図る

(3) 利用者と家族との信頼関係を築き住み慣れた地域での生活が継続できるよう在宅支援を行う

→ケアマネジャー、家族など利用者を取り巻く関係者と共に総合的な援助を行う

(4) 利用者の生活機能を理解し、残存機能や存在能力を引き出す援助を行う

→自立支援を基本としケアプランの目標に沿った援助を行う

(5) 部門内外の勉強会、研修会に参加し事業所全体のレベルアップ

→サービス提供責任者実践力研修、適正実施研修会、障害福祉サービス研修会に参加し、訪問介護員間で情報を共有する、

(6) 居宅サービス計画書と連動した訪問介護計画書の作成と目標達成の見直し

→ケアプランの目標につながるような訪問介護計画と目標設定を行う

(7) 訪問介護計画にそった介護、目標達成できるサービス提供と記録の改善

→適切な介護方法を見極め、記録に残す

(8) 職員の接遇マナー、介護の心得、利用者対応についての意識向上

→コミュニケーション技術を身につける

## 5. 職員体制・勤務状況等

(1) 人員 5名(常勤専従 1名 常勤兼務 1名 非常勤 3名)

※サービス実施状況に応じ随時補充

(2) 勤務パターン

K 8:00～17:00      B 8:30～17:30

E 8:30～16:00      J 8:00～15:30

P 9:00～16:30

非常勤・登録 ケアプランに基づくサービス時間毎

## 6. 定員(利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載)

(1) 定員 なし

(2) 利用日、利用時間 月曜日から日曜日(元旦を除く)

(3) 実施地域 小豆郡内(豊島地区を除く)

## 7. 利用料金一覧

報酬改定により決定後の作成となるため添付なし

## 8. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

## 9. その他(上記に記載されていない内容)

なし

# 介護予防訪問介護利用料金

平成30年4月1日

介護予防訪問介護(Ⅰ)	1ヶ月	1,168 円
介護予防訪問介護(Ⅱ)	1ヶ月	2,335 円
介護予防訪問介護(Ⅲ)	1ヶ月	3,704 円

加算	
初回加算	200 円
緊急時訪問介護加算	100 円
生活機能向上連携加算	100 円
特別地域加算(離島等)	(サービス費) × 15%
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	(サービス費 + 加算) × 13.7%

# 訪問介護利用料金

平成30年4月1日

身体介護が中心の場合		
身体介護01	20分未満	165 円
身体介護 1	20分以上30分未満	248 円
身体介護 2	30分以上1時間未満	394 円
身体介護 3	1時間以上1時間30分未満	575 円
30分増すごとに		83 円増し

身体介護に引き続き生活援助が中心の場合			
身体+生活	生活1	生活2	生活3
身体1	314 円	380 円	446 円
身体2	460 円	526 円	592 円
身体3	641 円	707 円	773 円

生活援助が中心の場合		
生活援助2	20分以上45分未満	181 円
生活援助3	45分以上	223 円

加 算	
初回加算	200 円
緊急時訪問介護加算	100 円
生活機能向上連携加算	100 円
特別地域加算(離島等)	(サービス費) × 15%
介護職員処遇改善加算	(サービス費+加算) × 13.7%

## 障害福祉(居宅介護) 料金表 (障害福祉サービス)

平成30年4月1日

※障害福祉サービスにおいて「居宅介護」の認定を受けた方が対象

利用時間	身体介護 通院等介助	利用時間	家事援助	利用時間	重度訪問介護
～30分未満	2,480円	～30分未満	1,020円	～1時間未満	1,840円
～1時間未満	3,920円	～45分未満	1,480円	～1時間30分未満	2,740円
～1時間30分未満	5,700円	～1時間未満	1,910円	～2時間未満	3,650円
～2時間未満	6,510円	～1時間15分未満	2,310円	～2時間30分未満	4,560円
～2時間30分未満	7,320円	～1時間30分未満	2,670円	～3時間未満	5,480円
～3時間未満	8,130円	～1時間30分以上	3,010円に 15分増す毎に 340円を加算	～3時間30分未満	6,380円
～3時間以上	8,940円に 30分増す毎に 810円を加算			～4時間未満	7,300円
				～8時間未満	8,150円に 30分増す毎に 850円を加算

○初回加算：2,000円/月

○利用者負担上限額管理加算：1,500円/月

○緊急時対応加算：1,000円

○特別地域加算：実利用単価数×15%

○福祉・介護職員処遇改善加算：実利用30,3%(居宅介護) 19,2%(重度訪問介護)

○上限負担額がある場合受給者証に記載している額

## 年間行事等実施計画

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月					25	ヘルパー会議・勉強会 (事故防止)	25	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
5月					25	ヘルパー会議・勉強会 (事例検討・ヒヤリハット)	25	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
6月					26	ヘルパー会議・勉強会 (食中毒・感染症) 下旬訪問介護適正実施研修	26	軽費避難訓練参加	下旬	職員健康診断 衛生委員会		
7月					25	ヘルパー会議・勉強会 (接遇・職員倫理) 下旬訪問介護計画作成・展開研修	25	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
8月					25	ヘルパー会議・勉強会 (災害時マニュアル確認) 下旬訪問介護計画作成・展開研修	25	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
9月					25	ヘルパー会議・勉強会 (研修報告) 下旬訪問介護計画作成・展開研修	25	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
10月					25	ヘルパー会議・勉強会 (虐待防止)	25	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
11月					27	ヘルパー会議・勉強会 (口腔ケア)	27	軽費避難訓練参加	下旬	インフルエンザ予防接種 衛生委員会		
12月					25	ヘルパー会議・勉強会 (感染症)	25	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
1月					25	ヘルパー会議・勉強会 (緊急時の対応)	25	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
2月					25	ヘルパー会議・勉強会 (事故防止)	25	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
3月					25	ヘルパー会議・勉強会 (事例検討)	25	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
小規模多機能型居宅介護事業 サンリゾート

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

高齢化の進む中、特養の増床はあるが重度者に限定されており軽度者においては現在の暮らしを継続するには家族の支援と在宅系のサービス利用は必須である。小規模多機能サービスはこれまでのデイサービスや訪問介護といったサービスに比べ利用頻度、時間等が随維持利用者の状況に合わせて変更できる。

また、通いと宿泊が同日利用できるといったメリットから、これまで以上に在宅生活の継続を支援するサービスという位置づけである。しかし、一人暮らし、認知症の進行、介護者の高齢化などの問題もあり中には重複している場合もある。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

要支援から要介護までの利用が可能であり、状態に応じたサービス調整を行っているが、要介護度と報酬は比例しているため、小規模多機能サービスを利用することで状態が改善した場合は軽度家事支援や運動教室などへの移行が必要であり、反対に重度化した場合にも入所施設への支援が求められる。

在宅生活の継続には利用者への支援だけでなく、在宅介護を支える家族に対する情報提供や相談援助も重要な部分を占めている。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

(4) 家族に対するサポートの強化、地域や関係機関との連携を図り在宅生活を支援する

## 4. 達成目標（新年の目標）（手法）

(1) 登録者及び待機者の確保と稼働率の安定

→引き続き登録定員29名を維持できるよう包括支援センター、居宅介護支援等との連携を図る。

(2) サービス内容や要介護度の見直しを行い適切なサービス提供の実施

→利用者・家族の状態把握に努めサービス内容を検討する。必要に応じて区分変更等も検討。

(3) 研修会や勉強会を通して認知症に対する理解を深め個別ケアに繋げる

→グループホームとの合同で認知症に対する勉強会を継続する。

(4) 家族に対するサポートの強化、地域や関係機関との連携を図り在宅生活を支援する

→情報提供、相談援助、家族との連携強化を図る。勉強会への参加も検討する。

(5) 職員の接遇マナー、介護の技術や利用者対応についての意識向上

→職員のレベルアップと事業所全体のチームワークを目指す。



- (6) 事故防止、再発防止にむけた取り組みの強化  
→事故ゼロを目指す。発生時の分析を行い再発防止に取り組む。
- (7) 利用者の安心安全のための設備環境の見直し  
→施設内の環境を常に見直し必要な設備の設置や購入などを検討する。
- (8) 運営推進会議、家族会を通して利用者主体のサービスの充実、地域密着化を図る  
→地域や家族からの意見を参考にサービスの質の向上を目指す。  
リゾートカフェの開催、こどもセンター、老人会など地域交流を継続する。
- (9) 保険者、地域包括支援センター、各居宅支援事業所との連携強化  
→関係機関との連携を図り地域の状況を把握し事業所としての役割を理解する。

## 5. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 13名
- (2) 勤務パターン
  - L 7:30～16:30      K 8:00～17:00
  - B 8:30～17:30      C 9:30～18:30
  - D 10:00～19:00    ★ 17:00～翌10:00
  - △ 8:30～12:30      ▽ 13:30～17:30
  - 9:00～16:00

## 6. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

- (1) 定員 29名 1日の利用定員（通い18名、泊まり9名、訪問随時）
- (2) 利用日、利用時間 24時間365日

## 7. 利用料金一覧

報酬改定により決定後の作成となるため添付なし

## 8. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

## 9. その他（上記に記載されていない内容）

なし

## 年間行事等実施計画

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 お花見ドライブ	10	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	衛生委員会		※年間3~4回 小豆島町介護支援専門員 研修会参加
5月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 端午の節句	8	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	衛生委員会		
6月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 新緑巡り	12	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	健康診断 衛生委員会		
7月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 七夕	10	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	衛生委員会		
8月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 夏祭り	14	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	衛生委員会		
9月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 お彼岸	11	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	衛生委員会		
10月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 祭り見物	9	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	衛生委員会		
11月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 紅葉巡り	13	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	職員インフルエンザ予防接種 衛生委員会		
12月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 クリスマス会	11	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	衛生委員会		
1月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 初詣	8	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	衛生委員会		
2月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 節分	12	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	衛生委員会		
3月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 ひな祭り	12	経営会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議		非難訓練	下旬	衛生委員会		

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイ会  
給食課

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

外的要因としては、近年の温暖化により、天候不順による野菜の高騰、物価の上昇の影響で食材、光熱費等が増加傾向にあり、質を落とさないよう工夫して献立を考えているが、ますます厳しくなると思われる。また今後、高齢化、後継者不足により、業者の廃業も考えられる。

内的要因としては、利用者の増加、利用者のニーズに添った食事形態の提供にて、以前より業務が複雑化しており、すべての勤務が行えるようになるには、かなりの時間を要すが、給食課職員12名中60代5名、50代2名と高齢化しており、今後の人材確保、育成が急務である。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

食事は生きる根源である。施設の生活において「食べること」は生きる意欲や日々の楽しみに繋がっていると捉え、美味しく安心安全な食事サービスを行っていく。例年実施している嗜好調査、他部署との連携を強化し、利用者のニーズ、旬の食材を取り入れ、五感で四季を感じられる食事提供に心がける。

特養においては、栄養ケアマネジメントを実施し、利用者個々の状態に適した栄養管理を行いQOLの維持・向上に繋げていく。衛生管理においては、職員全員が常に衛生管理に対して意識を持ち、既存の衛生管理に加え、感染予防対策の強化に努める。地域関連行事では、年間恒例行事・ふれあい弁当宅急便・サロン活動を行っていくなかで、地域に理解、また信頼・必要とされるよう努力する。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

(3) 給食の品質管理、衛生管理の徹底と安全確保

## 4. 達成目標（新年の目標）（手法）

(1) 利用者個々に適した食事形態の提供

→他部署と連携を行い、本人の状態に合った食事形態での提供

(2) 利用者個々に適した栄養ケアプランの作成と見直し

→3ヶ月毎、もしくは状態の変化があった場合には再アセスメントを行い、本人に合った食事が提供出来ているか（ケアプラン）の確認を行う。又、担当者会議参加する。

(3) 給食の品質管理、衛生管理の徹底と安全確保

→毎月の勉強会、日々の業務にて職員間で話し合い、衛生管理に対しての意識が維持出来るようにする。

(4) 郷土料理、家庭の味、季節感のある食事の提供、新メニューの取り組み

→旬の食材を取り入れ四季の感じられる食事の提供。新メニューの開発に努める。

- (5) 職員の知識・技術向上のための勉強会や研修会に参加しレベルアップを図る  
→毎月、職員勉強会を行う。又、外部の研修に積極的に参加する。
- (6) 食材、調味料のコストの検討、見直し、改善  
→随時、他業者との価格を比較し検討する。
- (7) 給食課と他職種の連携体制の強化をし、質の良いサービスの提供を図る  
→毎月、特養の給食委員会、他部署の職員会議へ参加して情報収集し、より良いサービス提供に繋げる。
- (8) 厨房設備の補修、改善  
→ガステーブルの五徳、汁受け、バーナーの買い替え。  
その他、随時、必要な修理、購入を行う。
- (9) 事務・調理業務の見直し  
→栄養士の業務時間の確保を職員間で話し合い見直しを行う。
- (10) 地域貢献活動への参加  
→全員が参加できるように調整する。
- (11) コミュニティカフェ・地域向け食堂の検討  
→情報を収集して検討する。

#### 5. 職員体制・勤務状況等

(1) 人員 13名

(2) 勤務パターン

- Ⓐ 6:00～15:00 K 8:00～17:00 B 8:30～17:30
- C 9:00～18:00 D 10:00～19:00 □ 8:30～13:30
- 9:00～16:00 M 17:00～19:00

#### 6. 定員 (利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載)

該当なし

#### 7. 利用料金一覧

該当なし

#### 8. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

#### 9. その他 (上記に記載されていない内容)

特になし

## 年間行事等実施計画

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	2 18 23	にこにこカフェ 誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10 18 25 25	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検		
5月	2 21 22	にこにこカフェ 誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10 21 25 25	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検		春の地域交流昼食会
6月	2 20 22	にこにこカフェ 誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	11 20 20 25	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検		
7月	2 19 23	にこにこカフェ 誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10 19 25 25	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検		
8月	2 20 23	にこにこカフェ 誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10 20 24	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検		年次祭 創立記念夏祭り
9月	3 20 21	にこにこカフェ 誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10 20 19 26	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検		敬老会
10月	2 22 23	にこにこカフェ 敬老会誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10 22 24 25	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検		
11月	2 20 21	にこにこカフェ 誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	9 20 21 26	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災) 避難訓練(風水害)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検		秋の地域交流昼食会
12月	3 20 21 28	にこにこカフェ クリスマス誕生忘年会 月例祭 餅つき		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10 20 19 26	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検	上旬	一人暮らし高齢者を励ます会
1月	2 21 23	にこにこカフェ 誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10 21 23 25	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検	1	元旦祭
2月	4 18 22	にこにこカフェ 誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	8 18 20 25	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)	毎日	衛生委員会 衛生管理点検		
3月	4 19 22	にこにこカフェ 誕生会 月例祭		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	11 19 20 25	経営会議・課長主任会議 給食会議・職員勉強会 衛生研修会 職員会議 給食委員会		避難訓練(火災)		衛生委員会 衛生管理点検		

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
事務課

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

法改正など事業を取り巻く環境の変化を的確に捉え、対応できる事務業務体制をめざす。また、経営の安定を図るため、収入の確保に努める一方、諸経費の節減に努め、支出の抑制を図るなど、効率的・効果的な予算管理を行い財務管理の適正化に努める。

また、人材の確保と育成に関しては、内部・外部共に研修制度を明確に作成し実行していきながら全職員がレベルアップを図れるよう取り組んでいくと共に、職員のワークバランス、メンタルヘルス、ストレスチェック診断の実施を継続し働きやすい職場を目指す。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）※事務、サンスマイルの内容を記載

公益住宅サンスマイルは自活可能な高齢者、生活困窮者を対象としている。

福祉施設に隣接していることから安心して生活できる環境で、セコムのセキュリティを完備し見守り体制をとっている。また、福祉サービス、介護保険サービスの相談が出来る体制であり、緊急時には軽費老人ホームシーサイドサンシャインと連携したサービスの提供を実施し、生活困窮者の方には低額な料金設定にしている。

## 3. 部門目標（達成目標から1つ選ぶ）

(2) 各施設の収支状況分析を行い経営基盤の安定化を図る

## 4. 達成目標（新年の目標）（手法）

(1) 業務の効率化及び情報の共有化

→事務作業において必要なシステムを取り入れていくことで作業にかかる時間を削減し効率を向上させる。

(2) 各施設の収支状況分析を行い経営基盤の安定化を図る

→収入増と経費削減を重点課題として、取り組む。

(3) 職員の健康管理と健全な職場環境の維持

→健康診断の受診とストレスチェックの実施を継続。

(4) 法人全体の研修制度の確立

→法人としての研修委員会を立ち上げ、職員のスキルアップや組織力強化を目的に職務年数、職種に応じた施設内・外の研修プログラムの充実を図る。

(5) 法人全体の情報共有システムの確立

→マメールを活用し全職員に対して必要な情報を発信する。また、BCP策定の一つとしてマメールを使用した安否確認システムを構築し、迅速に職員の安全確保・事業の継続を行う。

(6) 人材の確保と定着

→労働条件の改善や採用希望者の雇用条件を考慮し検討行う。

(7) 地域貢献活動の参加

→現状として行っている地域サロン活動等に継続して参加する。また、活用できる資源（設備、技術）を活かし、地域にとって必要な支援を検討していきたい。

5. 職員体制・勤務状況等

(1) 人員 5名（うち非常勤職員 1名）

(2) 勤務パターン

L 7：30～16：30

K 8：00～17：00

B 8：30～17：30

S 9：00～18：00

6. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

公益住宅サンスマイル

(1) 対象者 高齢者、生活困窮者で自活可能な方

(2) 定員11名 原則1室1名

(3) 利用日、利用時間 24時間365日

(4) 設備内容

- ・鉄筋コンクリート造り 2階建て ・バス、トイレ、エアコン、温水器完備
- ・オール電化 IHクッキング ・駐車場完備

(5) その他

- ・契約時に保証人1名必要 ・セコム（月3,000円）に加入可能
- ・原則、火災保険に加入 ・食事対応は不可

7. 利用料金一覧

公益住宅サンスマイル料金表

家賃	35,000円	共益費	3,000円
駐車場	1,000円	敷金	2ヶ月分

8. 行事、研修、訓練等

今後、施設内外での研修計画書をその都度作成する

9. その他（上記に記載されていない内容）

特になし

# 平成30年度 事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会  
地域貢献活動・地域公益活動（めだかの学校）

## 1. 背景（事業を取り巻く環境変化、概要・目的の根拠となるもの）

平成28年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、法人の本旨から導かれる本来の役割を明確化するため、「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規程が創設された。

社会福祉法第24条第2項に規定する3要件に該当する必要があったが、その後社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の推進についての文書が平成30年1月23日付で発信され、その中で実施する内容は柔軟に対応しても良いと要件の緩和が示された。

## 2. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

月一回開催するめだかの学校（地域福祉勉強会）において多職種と情報交換を行い、地域ニーズを把握するとともに、新たな地域課題への連携した取り組みを検討する。

地域活動推進委員会においては月一回会議を行い、サンシャイン会として行える地域に向けた取り組みについて考え、地域ニーズに合った取り組み（地域貢献活動）を実施する。また地域公益活動についても検討を進めて実施する

高齢者、児童、障がい者等さまざまな人が集える居場所づくり事業を検討して定期的を実施する。

## 3. 達成目標（新年の目標）（手法）

### （1）小豆圏域福祉関係者の連携強化

→地域福祉に関するネットワーク会議を行う

### （2）地域に向けた取り組みの計画・実施・見直し

→地域活動推進委員会において月一回会議を行う。

### （3）地域に開かれた施設を実現するための取り組みを実施

→地域向けの広報誌（めだか通信）の内容を検討し発信する。

### （4）地域行事への積極的な参加

→地域行事の情報収集を行い、地域行事に参加し協力を行う

### （5）地域のニーズ調査を実施し分析する

→出前講座等地域住民と交流する機会にアンケート調査を実施する

### （6）地域との合同防災訓練の実施

→東蒲生地区等と相談し、合同防災訓練を行う

### （7）地域福祉勉強会の定期的な開催

→月一回サンシャインにおいてめだかの学校を実施する

### （8）他機関との情報共有の機会を定期的で開催する

→他機関交流会を半年に一度開催する



(9) 地域のニーズに応じた出前講座やその他の企画の実施

→出前講座、出張にここカフェ、クリーン作戦を行う

(10) 子どもの居場所づくりに向けた取り組みの実施

→情報収集を行い、サンリゾート多目的ホールを活用して居場所づくりの事業を実施する

#### 4. 年間計画

別紙、年間計画書に記載

#### 5. その他（上記に記載されていない内容）

特になし

## 年間行事等実施計画

項目 月	会議・勉強会		地域貢献活動		広報活動		防災訓練		居場所づくり事業		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		打ち合わせ		打ち合わせ		出張にこここカフェ
5月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		打ち合わせ		打ち合わせ		出張にこここカフェ
6月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		訓練実施		事業実施		出張にこここカフェ
7月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		訓練振り返り		事業振り返り		出張にこここカフェ
8月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		打ち合わせ		打ち合わせ		出張にこここカフェ
9月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		打ち合わせ		打ち合わせ		出張にこここカフェ

項目 月	会議・勉強会		地域貢献活動		広報活動		防災訓練		居場所づくり事業		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
10月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		訓練実施		事業実施		出張にこここカフェ
11月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		訓練振り返り		事業振り返り		出張にこここカフェ
12月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		打ち合わせ		打ち合わせ		出張にこここカフェ
1月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		打ち合わせ		打ち合わせ		出張にこここカフェ
2月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		訓練実施		事業実施		出張にこここカフェ
3月		地域活動推進委員会 めだかの学校		出前講座 クリーン作戦		めだか通信発行		訓練振り返り		事業振り返り		出張にこここカフェ